

町民と議員のタウンミーティング in 平出区 概要報告

開催日時 令和7年5月23日(金)19時から

会 場 平出コミュニティセンター

参加人数 平出区民18人 議員12人

平出区データ 2,454 人(男 1,221 人、女 1,233 人)(区民台帳による) 65 歳以上 912 人(37%)、75 歳以上 566 人 6町内で構成
--



【赤羽区長あいさつから】

定年延長や雇用形態の変化により、区・各町内の役員なり手不足が深刻。
どうしたら若い人に参画していただけるか悩んでいる。
コロナで離れてしまった行事への参加など、区民のコミュニティ形成が課題。

【主な意見交換内容】

◆町のビジョンについて

(区民) 少子化が進む中、保育園や学校のあり方(小中学校統合、小中一貫校)について、町ではどのような話し合いがされているか。町としてビジョンを明確に示してほしい。
(議員) トップが方針を示すことが必要ではないか。町民からビジョンを示すよう声を上げてほしい。

◆学校のあり方について

(区民) 少子化が進んでいるが、将来を見据えて学校のあり方をどのように考えているか。
(議員) あり方検討委員会では、令和10年度以降のなるべく早い時期に町のビジョンを明確に出せるように話し合いを進めている。最終的な結論は出ていないが、今年中に

委員会としての報告を出し、来年2月くらいに町に答申する予定。
(議員)出生が年70～80人、統合という方向に向かっていくのではないかな？

◆町職員の対応について

(区民)職員のプロ意識ない。「どんなことでも答える」というプロを育ててほしい。
(区民)専門性をもたせ、何でも相談しやすい窓口が必要では。
(議員)町職員のスキルアップが必要。
(議員)組織(課)のトップがきちんとビジョンを示すことも必要ではないかな。

◆議員の問題意識について

(区民)道路問題や保育園問題など、地元議員だけでなく議員全員で考えてほしい。
(議員)板沢最終処分場の問題については、議員みんなで勉強会や見学を行い、課題を共有することができた。今後も町内の様々な問題について取り組む。

◆越道団地について

(区民)団地の現状や今後の動きはどうなっているか。
(議員)住んでいる方がいるため、強制的な取り壊しはできない。アスベスト対策も必要
なため、手間と費用がかかる。町内にはかなり古い町営住宅があるので、計画的に少
しずつ取り壊す計画になっている。

◆空き家バンクについて

(区民)所有者がほとんど不在。町で何か対応できないか。
(議員)最近、若い人が辰野に帰ってくるケースもある。古い家を改修して住む傾向もあ
るので、空き家を早い段階でどうするか地域で声を掛け合う。また、移住後に移住者
と地域の方とがコミュニケーションを取ることが大事。空き家に入居するために様々な
補助金もある。危険な空き家については区へ連絡してほしい。

◆移住定住について

(区民)最近、子どもの教育のために移住する人が増えているが、家族で移住してもら
うためには働く場が必要。リモートワークなどができる環境を整える必要があるのでは
ないか。
(議員)川島区の場合は、県の移住モデル地区になったこともあり移住者が増えた。本
当に移住者を呼び込むためには、地元も心を開く必要がある。

◆自宅での看取りについて

(区民)辰野病院は医者・スタッフ不足、個人病院の医師も忙しく、往診できる体制が整
っていないので、訪問診療科の充実を。また、現在は自宅で亡くなった場合、検死が

入ってしまう。国では無医村に限り、研修を受けた看護師が現場に赴き、画像を医師に送る等して遠隔画像システムで死亡判定ができる。辰野町でもそういったことができないか。

(議員) 誰しも住み慣れた家で最期を迎えたいと思う。しかし、今のシステムではそれが難しいというのがもどかしい。福祉教育常任委員会でも調査研究していく。

◆介護認定について

(区民) 認定に1カ月半かかったが、もう少し早くならないか。

(議員) 最短で1カ月かかる。認知症テストの結果や医師の診断を踏まえて介護認定調査会で話し合われるため時間がかかる。国のシステムの大きな課題だと思う。

(議員) 介護認定は広域連合でやっており、辰野だけ遅い、厳しいということはない。

◆有機農業について

(区民) 有機農業推進の町宣言をしたが、販路が難しいのではないか。例えば、町が買い上げて有機野菜を学校給食で提供することで、それを目当てに移住する人もいるのではないか。

(区民) 地産地消というより、地消地産、マーケットインの発想で学校給食への供給を。

(議員) 有機農業について、まだ町民に浸透していないと感じるので、これまでの取り組みを紹介していく。有機農業に取り組んでいる方や、関心のある方に情報提供しながら進め方についても話し合っていく。

◆役員のなり手不足

(区民) 高齢者が川ざらい等するのは大変。免除するとか、業者をお願いするとか、考える必要があるのではないか。

(区民) 区の役員を選出するのが大変。集落支援員や協力隊の方に関わってもらうことはできないか。

(議員) 他の区でもこの問題が必ず出る。今は明確な答えはないが、区長会で他地区のやり方などを情報交換することで、改善策が見つかる可能性もある。今後も調査研究を続ける。

(議員) 町からも区に頼っている部分もある。町としての対応も必要ではないか。

その他

◆スマートインターについて

◆受動喫煙について

◆学校給食への提供方法(配送)について

* 平出区民の皆様から出されたご意見、要望は、今後の一般質問や様々な議会活動に活かしてまいります。今後とも町議会議員に、ご意見、ご要望をお寄せいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。